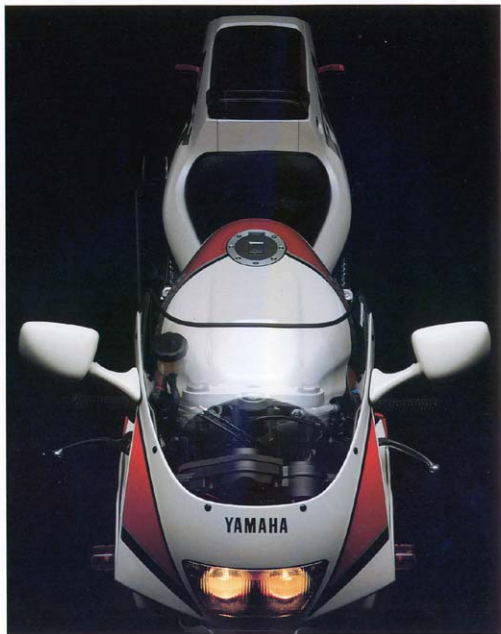


# FZR250R

4-CYCLE SUPER SPORTS

YAMAHA





# 高性能はマシンに力と優しさを与えた。 「ヒューマンレスポンス」の進化形、 ニューFZR250R誕生。

テクノロジーの進化。それは、ただ単に速く走るためにだけ使われるべきではない。人とマシンとの信頼を深め、その絆を確かにしてゆけてこそ、本当の進化と呼べるのではないだろうか。ニューFZR250R。全回転域でライダーの期待に応えるパワーとレスポンスを発揮させる。ヤマハ独自の排気デバイス“EXUP”。安定性としなやかな運動性能を両立させたアルミデルタボックスフレーム。強力な制動能力と高いコントロール性



をあわせ  
持つブレーキシステム。それら最新のテクノロジーを駆使したパーツ類のすべてが一体となることで、まるでライダーの気持ちをマシンが的確に捉えてゆくような、人とマシンとの新しい関係が実現した。そこには、ストレスなど存在しない、あるのはただ、忠実にマシンが応えてくれることへの、限らない喜びと、大きな感動だけだ。人の気持ちに応える高性能「ヒューマンレスポンス」。人とオートバイとのかぎりなく深い信頼関係が、ここにある。

# POWER UNIT

人の気持ちに応える高性能「ヒューマンレスポンス」。

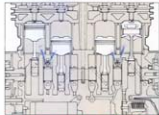
その実現のために、高速域でのスポーツ性と中低速域での扱いやすさを高次元で両立したパワーユニット。街乗りからツーリング、そしてワインディング走行まで、走ることの本来の喜びを与えてくれる。





### ハイパワーと全回転域での扱いやすさを両立。前傾45度・4バルブ・DOHC・並列4気筒エンジン

本当にライダーの気持ちに応えるエンジンとは、何だろう。扱いやすさだけでは物足りない。ハイパワーだけなら、走りはぎくしゃくしてしまう。状況に応じ、常に必要なパワーを取り出すことのできるエンジンが理想といえるだろう。ニューFZR250Rのエンジンは、その理想に向けて、磨きあげ、鍛えあげられた。ヤマハ最新テクノロジーの結晶だ。軽量ピストン、ピストンクーラーなど、高回転域や苛酷な条件下での使用を考慮したスペシャルパーツ装備による、最高許容回転数18,000rpmという想像を超えるパワーバンド。最高出力45ps/16,000rpm、最大トルク2.5kg-m/12,000rpmを発揮するスペックの裏に秘めた、高回転域のハイパワーとスロットワークに即応する扱いやすさ。そして全回転域での扱いやすさ。45度という、大きなシリンダー前傾角度が実現した低重心化。さらに、点火時期のセッティング変更などにより、一層向上した始動性。まさに、「ヒューマンレスポンス」実現のためのエンジンだ。



### エンジンポテンシャルを最大限に発揮させる。ヤマハ独自の排気デバイス“EXUP”装備

マフラーは、エンジンの使用回転数に応じ、理想的な径や長さに変化する。その結果、あくまで理想を追求するならば、マフラーを何

本も準備し、付け替えなくてはならない。その難問を解決したが、ヤマハが世界に先駆けて実現した4

ストロークエンジンのための革新的な排気デバイス“EXUP”だ。マイクコンピュータを核とするコントロール



ユニットが、イグナイターユニットからのエンジン回転数信号を、排気バルブを駆動するサーボモーターに伝送。この回転数信号に対応して、4本のエキゾーストパイプ後端集合部に設けられたバルブが作動。エキゾーストパイプの後端面積を変化させ、エキゾーストパイプを変更したのと全く同じ効果を生み出す。中低速回転域では、充分に力強いトルクを生み出し、高速域では、胸のすく加速フィーリングを実現する。

### さらに熟成された

#### ダウンドラフトタイプキャブレター

より多量の吸気量スムーズに燃焼室内に送り込むには、吸気の通る通路の抵抗をできるだけ少なくすることが重要となる。そこで採用したのが、大きく前傾したシリンダーとエンジン上方にセットしたエアクリナーを、上から下へストレートな経路で結ぶ、ダウンドラフトタイプキャブレターだ。新たに、スロー系にブリータイプジェットの採用などの改良を加え、高速域はそのままに中低速レスポンスを向上させている。

#### 吸気にも細心の配慮。FA.Iシステム採用

パワーユニットが高性能であるほど、吸入する空気のクオリティが問われる。FA.I.(フレッシュエア・インタークーラー)が、フェアリング部から新鮮な外気を導入することでこの問題を解決。常にクールで高密度な空気をエアクリナーに供給する。



# CONTROLLABILITY

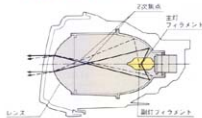
ムリな力を加えず、特別なテクニックも必要なく、  
ただマシンが自然に人の思いを感じとって走ってゆく。  
本当に高いコントロールビリティは、ライダーにそんな感覚をもたらしてくれる。  
一体感という言葉すら超えてしまった「ヒューマン・レスポンス」の世界がここにある。





**アルミデルタボックスフレームと  
リアアームがさらに進化**

ライダーの意思に敏感に反応するほどの高いコントロールビリティを獲得するためには、フレームの軽量化と高剛性化を同時に達成しなくてはならない。この相反する問題を解決したのが、アルミデルタボックスフレームだ。軽量のアルミ材を用い、剛性の高いボックス型断面を採用したこのフレームは、もともと力の加わるステアリングヘッド付近を太くし、リアピボット部に向けて細くするデルタ型を採用。力学的に極めて剛性の高い三角形をフレーム側面部分に採用することで一層の軽量化と高剛性化を実現している。さらにニューFZR250Rでは、フレーム部分に化学研磨処理をしたアルマイトを採用し、さらにアルミの輝きを高めている。  
**デュアルビームプロジェクターヘッドライトを採用したニューフェイス**



より高い空力特性を実現するためには、フルフェアリングをどこまでスラントノーズ化できるかが重要なポイントとなる。そこで問題になるのがヘッドライトの大きさだ。従来の大径ヘッドライトでは、収めるスペースを確保するためにノーズ角度を小さくできない。小径で大光量を確保できるプロジェクターヘッドライトの開発により、この問題を解決。ニューFZR250Rは、ハイ/ロービーム切り替え式のプロジェクターヘッドライトをダブルで採用し、今まで以上に空力特性に優れたスラントノーズフェイスを実現している。さらに、ニューデザ

インのマフラーの採用や、YZF750と同世代インのテールライトの採用など、全身に次世代のスタイリングを施している。

**フロントブレーキに  
タンク別体式マスターシリンダーと  
アジャスタブルブレーキレバー**—新採用  
優れたマシンは、優れたブレーキシステムを持ってはじめて完成する。いかに強力なパワーや卓越したコーナリング特性を身につけていても、それをコントロールするためのブレーキシステムがなくては能力を発揮できないからだ。ニューFZR250Rのフロントには、異径4ポットキャリパー装着フローティングダブルディスクブレーキを採用。マスターシリンダーをタンク別体式とし、シリンダー往無効ストロークの見直しを図り、ブレーキフィードバックを向上させた。さらに、4段階のレバー位置セッティングができるアジャスタブルブレーキレバーも採用している。リアのディスクブレーキとともに強力な制動力と良好なタッチを実現し、「ヒューマンレスポンス」を力強く支えているブレーキシステムだ。

**さらにライダーへの優しさを深めた  
ニュークイックマンツ**

ハンドル、フットレスト、ブレーキペダルは、軽量のアルミ製。また、人間工学に基づき、使いやすさを追求した新設計ハンドルスイッチ類の採用に加え、カートリッジ式オイルエレメントの採用など、随所で操作性をさらに向上させている。



# FZR250R

メーカー希望小売価格 ¥599,000 (注:消費税別) 1991年10月現在  
 価格表は別冊に掲載。詳しくは、販売店(又は、お客様)へお問い合わせください。また、価格表は別冊に掲載の上、申し付けます。●メーカーオプションで別途装着可能価格 ¥18,000(税別)も可能です。

## FZR250R仕様表

型式	3LH
全長/全幅/全高	1,950mm/595mm/1,130mm
軸距	1,375mm
シート高/最低地上高	725mm/140mm
乾体重	140kg
燃費/定地走行(40km/h)	48.0km/l (50km/h)
最大出力	3.0ps
最高時速	14.0km/50km/h
エンジン種類	4サイクル・水冷・DOHC・4バルブ
気筒数/並列数	並列4気筒/243cc
内径×行程	48.3mm×34.5mm
圧縮比	12.0:1
最高出力	45ps/16,000rpm
最大トルク	2.5kgm/12,000rpm
点火方式	76トランジスタ
駆動方式	軸駆動
燃料タンク容量	14L
エンジンオイル容量	2.1L
潤滑方式	強制循環ウェットサンプ
バルブ調整	12V/104(100)/108(100)/36
1次減速機構/減速比	キープ/2.542(89/35)
2次減速機構/減速比	チェーン/3.294(56/17)
クラッチ形式	湿式多板
変速形式	6速
変速機	3.298(2/214)/1.717(1/501)/1.376(1/374)/1.173
フレーム形式	プレス・バックボーン
キャスター/トリール	24°30'/87mm
タイヤサイズ(前・後)	100/90-17 50H/130/70-17 62H
制動装置(前・後)	前:ディスク 後:ディスク
●乗車は必ずヘルメットと安全靴を必ず着用してください。また、乗車時の服装(温度・湿度・風向)が乗車条件と異なる場合は、必ず乗車前にはヘルメット、安全靴、服装の内容を必ず変更してください。写真の内容の一部実車とは異なる場合があります。●プロテクターは装着のため、乗車前には必ず装着をお願いします。	



●シルキーホワイト/ビビッドレッド/カクタール



●シルキーホワイト/ダイナステープブルー

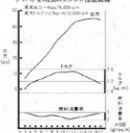


●シルキーホワイト/アップルレッド

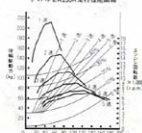


●ニューブラックブルー

## ヤマハ FZR250R エンジン性能曲線



## ヤマハ FZR250R 走行性能曲線



## HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく。

- ヘルメットを正しくおきましょう。■バイクは昼間もライトオン。■焦点・整備を忘れずに。
- 安全のため公道はのめしましょう。■騒音防止のため不必要な音をふらさずはやめましょう。
- 安全速度で走りましょう。無理な急減速はやめましょう。●よく見て、よく聞いてのことにしましょう。
- 目線のずり・オフはからびずブレームで。●状況に応じて減速した乗用での公道走行はできません。
- カーブ・交差点ではフットブレーキダウン。●YRSでは正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

## Y.E.S.S.

バイクライフを大きく広げる  
Y.E.S.S.に、参加しませんか?

●Y.E.S.S.(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの魂、バイクを核にした幅広い楽しみを提供する、まったく新しいクラブです。●特典もいろいろ。入会のお申し込み、お問合せは、Y.E.S.S.のステッカーのあるYE S.S.S.加盟店、またはフリーダイヤル 0120-319-819へどうぞ。

## JRS Circuit Club

ヤマハライディングスクール  
に参加しませんか?

国際△級ライダーやヤマハのインストラクターが、理論と実践の両面からライディングテクニックを伝授。クロズドコースでのケーティングが、日常の走りも大きく発展させます。お問合せ、お申し込みは、このマークのヤマハ販売店へ。

## YRS

新しいバイクの買い方です。

3回から36回までの分割払い(月々のお支払い43,000円から)。ボーナスでの一括払いや2回払いなど、ご希望に合わせていくつものコースから選択できる便利なクレジットです。販売店までご確認ください。

## 静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造!
- いつでもどこでも、絶対にいい走りか!
- マフラーの芯をいじり、マフラーをのびたり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに行けたりする改造は、騒音のもと、みんなに迷惑をかけています。

## 見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!



## B'Harmony

人とバイクの友好生活

## YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社  
 〒438 静岡県静岡市東区2500  
 910-9628-0811

1991年10月現在